

令和2年度 学校自己評価システムシート (県立深谷高等学校)

目指す学校像	学力の向上、部活動の振興に重点を置き、地域から信頼される進学校を目指す。 文武両道の精神に基づき心豊かな生徒を育成する。
--------	---

重点目標	1 確かな学力の定着を目指し、学習指導の工夫と主体的学習態度の育成を図る。 2 生徒一人一人の進路実現を叶える支援の充実を図る。 3 基本的な生活習慣の確立を図り、部活動、学校行事の活性化を支援し、豊かな心を育む。 4 保護者・地域との連携を強化し、開かれた学校づくりを推進する。
------	---

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

達成度	A	ほぼ達成 (8割以上)
	B	概ね達成 (6割以上)
	C	変化の兆し (4割以上)
	D	不十分 (4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者 生徒 事務局(教職員)	名 名 名
-----	-------------------------	-------------

学 校 自 己 評 価							学 校 関 係 者 評 価	
年 度 目 標					年 度 評 価 (2 月 1 日 現 在)		実 施 日 令 和 年 月 日	
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策	学校関係者からの意見・要望・評価等
1	【現状】 入学してくる生徒の学力や学習意欲に幅がある。臨時休校長期化が学習意欲低下を招いている。 【課題】 個に応じた学習指導と資格取得等により、学習意欲と基礎学力を向上させ、自己肯定感を高める必要がある。	・授業の工夫改善に努め、生徒の学習意欲を喚起するとともに、基礎学力の定着・向上を図り、学ぶ姿勢を身に付けさせる。	①習熟度別授業、少人数授業等によるきめ細かな授業を実施し、一層の基礎学力の定着を図る。 ②全教室に設置されたプロジェクタやタブレット等、ICT機器を活用した授業を推進する。臨時休業期間には、Classi等を活用した動画配信を実践する。 ③「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、グループワーク、ペアワーク等により、協調学習等の手法を用いた「学びの改革」を推進する。 ④教職員研修会の開催、校外研修会への参加、授業公開期間での研究授業、教員相互による授業見学により、授業の工夫改善を行い、わかりやすく生徒のやる気に火をつけさせる授業で学力向上を図る。 ⑤各種検定試験を積極的に受験させる。	① ・基礎学力診断テストの結果が向上したか。 ・成績不振に絡む転退学者が減少したか。(目標50%減) ②動画配信を実施できたか。 ③④ ・アクティブ・ラーニングの授業を実践できたか。 ・教員間で複数回の授業を見学できたか。 ・「分かりやすい授業」のポイントが上がったか。 ⑤検定試験を受検したか。				
2	【現状】 多くの進学者が指定校推薦及びAO入試等での進学である。 【課題】 早い段階から具体的な将来の進路目標を持たせるための仕掛けが必要である。上級学校進学後も学業についていける力をつける必要がある。	・学校と家庭との連携を密にした組織的な進路指導により、生徒全員の進路実現を目指す。 ・特進クラスの活性化	①二者・三者面談を実施し、生徒に寄り添い、一人ひとりの進路意識の向上を図る。 ②各学年が進路指導部と連携し、生徒の実態に合わせた進路行事を実施する。 ③Classiの一層の活用を図り、生徒に振り返り活動を行わせたり、学校と保護者の連携を密にしたり、生徒一人ひとりに明確な進路目標を持たせる。 ④ハローワークなどの外部機関と連携し企業の求人開拓を積極的に行うほか、地域の支援を受けて、就職希望者全員の内定を目指す。	①二者・三者面談を学校全体で行い、生徒の進路意識を向上させることができたか。 ②③生徒・保護者の学校の進路指導の取組の満足度が向上したか。 ④学校幹旋希望者の第1希望決定率の向上、内定100%を達成できたか。				
3	【現状】 基本的な生活習慣の大きな乱れはないが、整容指導、時間厳守や挨拶等がまだ不十分である。部活動の定着率が下降している。 【課題】 家庭との連携を強化して学校生活の様々な場面で整容、挨拶の励行、時間厳守等の基本的な生活習慣を確立し、社会生活のルールやマナーを継続的に指導する必要がある。	・基本的な生活習慣の確立と学校行事や部活動の体験を通して、豊かな心を育成する。	①年度当初から正門指導と各学年、授業、ホームルーム等での全教員が一体となって組織的な整容指導、家庭との連絡を密にして、時間厳守の大切さを教え、遅刻指導の徹底を図る。 ②生徒の活躍を評価し、自己肯定感を高める指導を行う。 ③魅力ある部活動を推進し、加入率や実績の向上を図るとともに部活動等で地域住民との交流事業を実施し、豊かな心を育む。 ④清掃・整理整頓の徹底。 ⑤専門機関と連携した教育相談など、一人ひとりに寄り添った指導を充実させる。	①頭髪や身だしなみ、時間を守って行動したポイントが向上したか。遅刻者数が減少したか②昨年を超える生徒表彰ができたか。 ③部活動加入率や部活動実績が向上したか。地域との交流事業の実施や参加者の高い満足度がえられたか。 ④清掃をよくやり、学校がきれいにしているポイントが向上したか。 ⑤課題解決に向けた生徒への支援ができたか。				
4	【現状】 保護者、中学校、地域等へ学校の広報を実施しているが、まだ不足しているさらに学校理解度を高める必要がある。 【課題】 学校を積極的に公開、発信し本校の魅力をアピールし、生徒募集に結びつける必要がある。	・本校の教育活動の情報発信を充実させ、魅力ある学校づくりを推進する。	①一番の地域の声である学校評議員会、学校評価懇話会の意見を学校経営に反映する。 ②学校ホームページ、「ふかこう通信」等を工夫し中学校や地域住民等への情報発信を強化する。 ③母校訪問の継続実施、学校説明会等での学校PRの工夫、学習塾等を対象とした説明会等の実施により、本校志願者の増加を目指す。 ④一斉配信メールを利用し、保護者に学校の情報を提供するとともに、学校行事への参加者増を目指す。 ⑤地域の施設に生徒を派遣し、交流を図る。	①意見を学校経営に繁栄できたか。 ②学校公開来場者数、ホームページアクセス数、生徒・保護者の満足度が向上したか。 ③学校説明会来場者数の向上本校志望生徒倍率1.10以上。 ④学校行事への参加者数が増加したか。 ⑤地域との交流が図れたか。				